



ORBCOMM - 汎用性が高い多機能デュアルモード端末 ST9100 を発売

マルチネットワーク接続及び柔軟なプログラミング環境によりカスタム IoT ソリューション開発を可能とする機能豊富なテレマティクスデバイスを提供する

ニュージャージー州ロシェルパーク、2020年11月10日 - グローバル IoT ソリューションプロバイダーである ORBCOMM Inc. (Nasdaq: ORBC)は本日、世界中の遠隔地にある資産の監視・制御をターゲットとした次世代デュアルモードテレマティクスデバイス「ST 9100」の販売を開始したことを発表しました。この汎用性の高いデバイスは、車両セキュリティ、車両管理、船舶監視、漁業管理、石油・ガス、建設、公益事業分野における機器の遠隔監視など、さまざまな IoT アプリケーションに活用することができます。

ORBCOMM の ST 9100 は、3G および 2G フォールバックを備えた LTE 機能と信頼性の高い低遅延衛星通信を必要に応じて使用して、マルチネットワーク接続を可能にし、費用対効果の高いユビキタスカバレッジを提供します。内蔵された ORBCOMM グローバル SIM は、565 以上の通信会社の携帯通信網接続を可能にし、接続オプションに関係なく、世界のほぼすべての地域での展開を容易にします。新しいデバイスは、信頼性とパフォーマンスを向上させるために、外部電源障害が発生した場合でも最低 48 時間の無停止操作を可能にする大容量バックアップバッテリーを特徴としています。ORBCOMM は、追加の I/O インターフェースとシリアル・インターフェース、大容量メモリ、デュアル CANbus を搭載してこの次世代デバイスを強化し、様々なプロトコルで異なる電子制御ユニットの監視と制御を可能にしました。堅牢化され、環境的に密閉されたこのデバイスは、極端な温度、衝撃、振動にも耐えられるように設計されており、防水・防塵の保護等級 IP67 に準拠しています。

ORBCOMM の製品開発担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントであるクレイグ・マローンは、「ORBCOMM の次世代端末は、デュアルモードソリューションを開発している当社の専門知識を活用しており、この堅牢な製品寿命と機能性を向上させる大幅な機能強化を特徴としています。この新しいデバイスは、ORBCOMM とその販売代理店がカスタマイズされた IoT アプリケーションをターゲットとしたソリューションを迅速に開発することを可能にする柔軟なプログラミング環境を提供し、衛星通信と携帯電話通信のメッセージ送信を自動的に切り替えるユニークな機能で、継続的かつコスト効率の高い通信を保証します。」と述べています。

さらに、ORBCOMM デバイスは、信頼性の高い Bluetooth 5.0 接続を特徴としており、ドア、温度、識別などを含む ORBCOMM のセンサーやサードパーティ製センサーのポートフォリオを使用する



ことができます。また、お客様は独自のモバイルアプリケーションを使用して、現場の主要なデータを可視化し、Bluetooth を介してモバイルデバイスから ST9100 経由でメッセージを送信したり、操作をしたりすることができます。Bluetooth 接続のもう一つの付加価値のある利点は、技術者が現場で自分の携帯電話やタブレットを使用してワイヤレスで設定、トラブルシューティングを行い、デバイスが適切にインストールされて機能していることを確認できることです。

ORBCOMM の次世代デュアルモード端末「ST 9100」の詳細については、<https://www.orbcomm.com/en/hardware/devices/st-9100> をご覧ください。

ORBCOMM INC について

ORBCOMM (Nasdaq: ORBC) は、産業用 IoT における世界的なリーダー、そしてイノベーターであり、企業と資産を接続して可視性と業務効率の向上を実現するソリューションを提供しています。同社は、シームレスな衛星および携帯電話網接続、独自のハードウェア、強力なアプリケーションを含む、資産監視および制御ソリューションを幅広く提供しており、設置から展開、カスタマーケアまで、すべてエンドツーエンドのカスタマーサポートを支援します。ORBCOMM は、輸送、サプライチェーン、倉庫管理、在庫管理、重機、海運、天然資源、政府機関など、一流の OEM、ソリューション顧客、チャンネルパートナーを含む多様な顧客基盤を有しています。詳細については、www.orbcomm.com をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースに記載されている記述の中には、1995 年私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の意味における将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、一般的に当社の計画、目的、将来の事象に対する期待に関するものであり、歴史的事実ではない当社の期待、信念、計画、目的、意図、仮定、およびその他の記述が含まれます。当社の期待に関する記述を含むこれらの将来の見通しに関する記述は、既知および未知のリスクや不確実性を内包しており、実際の結果が、将来の見通しに関する記述によって予想、予測、予想または暗示された結果と大きく異なる可能性があります。また、第 1 部第 1 項第 1 A 号「リスク要因」及び第 2 部第 1 B 号「リスク要因」に記載されている様々な要因を具体的に考慮する必要があります。「リスク要因」及び第 II 部第 7 号「経営者による検討及び分析」に記載されている様々な要因を具体的に考慮する必要があります。"財務状況及び経営成績に関する経営陣の



検討及び分析」等、証券取引委員会に提出されている当社の年次報告書（フォーム 10-K）及びその他の文書に記載されている様々な要因を考慮する必要があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、いかなる将来の見通しに関する記述や注意事項を公に修正する義務を負うものではありません。

ORBCOMM 連絡先

投資家向け:

Aly Bonilla, VP of Investor Relations

+1 703.433.6360

bonilla.aly@orbcomm.com

investorrelations@orbcomm.com

貿易メディア向け:

Sue Rutherford, VP of Marketing

+1 613.254.5269

rutherford.sue@orbcomm.com

mediarelations@orbcomm.com